

日本 「建築知」 の再定義

ー過去・現在・未来をつなぐ
アーカイブズの知の循環ー

いま、日本の建築界は大きな分岐点に立っています。かつて世界を席巻した「日本建築」の国際的優位性が揺らぎ、私たちが立脚すべき足場が問い直されています。一方、日本建築学会には140年にわたって積み上げられてきた膨大な「建築知」のアーカイブが眠っています。しかし、これらのアーカイブは、単に現在や未来と分離されて守られるだけの遺産ではなく、危機の状況にあってこそ活用されるべきものです。

本年度は、**建築アーカイブ**を大きなテーマとして捉え、過去140年の日本建築学会の蓄積を再編集し、可視化することにより現在・未来へとつなぎます。これらを建築ギャラリーにて展示するとともに、当日はアーカイブや展示をめぐるシンポジウム及びワークショップを企画し、ワーク・イン・プログレスで展示の再構成を行います。

講師

加藤耕一(東京大学大学院教授・建築史家)
藤本貴子(法政大学専任講師・建築アーキビスト)
岩元真明(九州大学准教授・建築家)
勝原基貴(金沢工業大学講師・建築アーカイブズ研究所研究員)

モデレーター

松田達(静岡文化芸術大学准教授・建築学・都市学)

コメンテーター

佐藤安乃(京都工芸繊維大学 美術工芸資料館・学芸員)

WS参加エントリー締切

2026.10.8(木)

学生ワークショップ2026

ワークショップ:

2026.10.10(土) ~ 10.12(月)

時間 | 1日目 11:00 ~ 19:00

2日目 9:30 ~ 19:00

3日目 9:30 ~ 19:00

会場 | 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

展示: 過去の記録から未来へー「建築雑誌がつないできた建築の「知」展

2026.10.10(土) ~ 10.18(日)

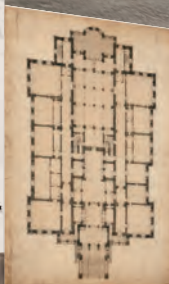
会場 | 建築博物館ギャラリー(東京都港区芝5-26-20)

シンポジウム: 「日本の建築アーカイブズの現在地とこれから」

2026.10.11(日)

時間 | 13:00 ~ 15:15

会場 | 建築会館ホール
オンライン中継



主催: 日本建築学会 | **後援:** 日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会 | **協賛:** 大林組、鹿島、清水建設、大成建設、竹中工務店、梓設計、久米設計、佐藤総合計画、三晃金属工業、日建設計、東京メトロ、日本設計、三菱地所設計、山下設計、NTTファシリティーズ | **特別協賛:** YKK AP

【学生ワークショップ2026】運営: 学生ワークショップ2026実行委員会(代表: 山脇若葉、副代表: 影山響乙) | **協賛:** 総合資格学院 / 総合資格、日建学院 / 建築資料研究社、ヒラテ技研、キャリア・ナビゲーション | **協力:** TONKAN



学生WS2026
特設HP

参加申し込みやイベントの詳細は、学生WS2026特設HPからご確認ください。

建築文化週間 学生ワークショップ 2026

日本「建築知」の再定義

ー過去・現在・未来をつなぐアーカイブズの知の循環ー

2026年10月10日（土）11:00～19:00 / 10月11日（日）9:30～19:00 / 10月12日（月）9:30～19:00

【ワークショップ概要】

『建築雑誌』と学会ワークショップ

『建築雑誌』とは、1887年より日本建築学会が発刊を始めた、約140年続く建築の総合雑誌です。この『建築雑誌』を用いて、本イベントは3つのアウトプットを行います。①事前準備にて、実行委員が140年分の『建築雑誌』のアーカイブを調査し、テーマごとに再編集した展示の半分を構成します。②ワークショップでは、シンポジウムでの議論も踏まえ、参加学生がチームごとに誌面を読み解き、展示の残り半分を自らの手で構成します。これらを一つの展示として、建築博物館ギャラリーで公開します。③本イベントに関連した成果をまとめて、一冊のアーカイブ冊子を作成し、より多くの人に建築アーカイブの可能性を知ってもらうことを目指します。

・ワークショップで設計できる展示とは

何が特集され、何が論じられ、何が語られなかったか。『建築雑誌』を140年分を並べたとき、そこには日本の建築界が何を「知」として記録に値すると判断してきたかが、そのまま浮かび上がります。会場には、建築思想の変遷から、社会の危機と建築との関わりまで、時代ごとの主題が並びます。ただし会期の初日、展示は半分しか完成していません。残された壁面は、ワークショップに参加するあなたが創り上げます。誌面から何を見つけ、どう並べるか、日本の「建築知」をどう捉えるのか、その判断がそのまま展示となります。

・最終講評

最終日には、各グループが成果として展示を発表します。自分たちが創り上げた展示が、建築史・アーカイブズ学・設計の第一線に立つ講師陣の目にどう映るのか。学生のうちにこれだけの専門家から同時に講評を受けられる機会は多くありません。講評を通して、140年の建築アーカイブの重みを感じ、建築を考える上での重要な知見に気づくことができます。

・ワークショップスケジュール

	日時	内容
1 日目	10/10 11:00-19:00	
	11:00-11:30	開場・受付
	11:30-12:00	開会の挨拶、趣旨説明
	12:00-13:00	グループセッション①（アイズブレイク・リサーチ）
	13:00-14:00	昼食
	14:00-17:30	グループセッション②（展示の設計Ⅰ）
	17:30-19:00	中間発表
2 日目	10/11 9:30-19:00	
	9:30-10:00	開場・受付
	10:00-10:15	前日の振り返り
	10:15-12:00	グループセッション③（展示の設計Ⅱ）
	12:00-13:00	昼食
	13:00-15:15	シンポジウム「日本の建築アーカイブズの現在地とこれから」
	15:15-15:30	休憩
	15:30-17:30	グループセッション④（展示の再構成、作成Ⅰ）
	17:30-19:00	中間発表・講評
3 日目	10/12 9:30-19:00	
	9:30-10:00	開場・受付
	10:00-10:15	前日の振り返り
	10:15-12:00	グループセッション⑤（展示の再構成、作成Ⅱ）
	12:00-13:00	昼食
	13:00-14:00	グループセッション⑥（発表準備）
	14:00-17:00	最終発表・講評・総評
	17:00-17:30	表彰式・閉会挨拶・写真撮影
	17:30-19:00	懇親会

・賞

最終日の講評会にて、講師により各賞が決定され、授与されます。

【講師】

加藤耕一（東京大学大学院教授・建築史家）
藤本貴子（法政大学専任講師・建築アーキビスト）
岩元真明（九州大学准教授・建築家）
勝原基貴（金沢工業大学講師・建築アーカイブズ研究所研究員）
モデレーター
松田 達（静岡文化芸術大学准教授、建築学・都市学）
コメンテーター
佐藤安乃（京都工芸繊維大学 美術工芸資料館・学芸員）

【関連企画展示会】

「過去の記録から未来へ『建築雑誌』がつないできた建築の「知」」展
140年の知の蓄積が詰まっている『建築雑誌』を学生の視点で、いくつかのテーマで再編集し展示し、建築アーカイブの価値を浮かび上がらせてます。どなたでも予約なしでご覧いただけますので是非お越しください。

展示日時

2026年10月10日（土）－2026年10月18日（金）9:00～17:00

会場：建築博物館ギャラリー 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

出展：学生ワークショップ2026 実行委員、ワークショップ参加者

協力：日本建築学会

参加を検討されているみなさま

専門知識は必要ありません。日本建築学会が蓄積してきた『建築雑誌』のアーカイブに直接触れ、何を面白いと感じたかを起点に展示を自らの手で構成します。さらに、第一線で活動する講師陣から成果物に対して直接講評を受けられる3日間です。完成した展示は建築博物館ギャラリーにて公開されます。また、今回のワークショップをもとに作成した冊子を得ることができます。

参加方法

右側QRを読み取り、
参加申込フォームより申し込みください！

参加申し込み〆切：2026年10月8日

対象：建築系の学生、建築関係者、
建築学科に興味をもつ中高生、一般の方
※当日の模様や展示会は、予約なしでどなたでもご覧いただけます。皆様を会場でお待ちしております。

参加申込フォーム



【公式HP・SNS・お問い合わせ】

建築文化週間 HP：https://bunka.aij.or.jp/

学生 WS 特設 HP：https://architecture0000.wixsite.com/gakuseiws

X（旧 twitter）：@gakusei2026

Email（お問い合わせはこちらにお願いいたします）
archi.gakusei.ws.2026@gmail.com

建築文化週間 HP



学生 WS 特設 HP



X（旧 twitter）



開催地

建築会館ホール＋建築博物館ギャラリー
東京都港区芝 5-26-20
地下駅三田駅
JR 田町駅より徒歩三分
（公共交通機関での参加をお願いします。）



注意事項

- ・取得した個人情報、本ワークショップの運営以外には使用いたしません。
- ・会場の様子が配信されることを、あらかじめご了承のうえでご参加をお願いいたします。
- ・会場までの往復にかかる交通費等、昼食・参加にかかる費用はご自身での負担になります。

建築文化週間 2026

主催：日本建築学会
後援：日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士連合会、日本建築士事務所協会連合会
協賛：大林組、鹿島、清水建設、大成建設、竹中工務店、梓設計、久米設計、佐藤総合計画、三晃金属工業、東京メトロ、日建設計、日本設計、三菱地所設計、山下設計、NTT ファシリティーズ
特別協賛：YKK AP

学生ワークショップ 2026

協賛：総合資格学院 / 総合資格、建築資料研究社 / 日建学院、ヒラテ技研、キャリア・ナビゲーション
協力：TONKAN

建築文化週間ワークショップ 2026 実行委員

実行委員代表：山脇若葉（大阪工業大学） 実行委員副代表：影山響乙（工学院大学）
実行委員：東さくら（京都工芸繊維大学）、伊藤達輝（近畿大学）、川島功士（東京理科大学大学院）、河辺通人（静岡文化芸術大学）、木谷侑宇真（神戸大学）、木村富汰（東北工業大学）、小玉悠斗（大阪芸術大学）、佐々木碧翔（札幌市立大学）、正路悠真（東海大学）、田島唯斗（愛知工業大学）、中村美紀（京都工芸繊維大学大学院）、星子真（千葉大学）、松藤浩奈（千葉工業大学）、宮田隼輔（近畿大学）、吉田麗史（日本大学）、渡邊翔真（千葉工業大学）【五十音順】

※上記の情報は現時点での決定事項であり今後変更になる可能性がございます。
変更次第随時、HP、X(twitter)にてお知らせします。